



健康で安心して生活できる 取り組み

健康・福祉関連として、少子高齢化が進む中、住民の福祉ニーズに対応し、健康で安心して生活できる取り組みを進めてまいります。

令和7年度の新規事業としては、高齢化率が35.4%と進んでいる中、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるように地域包括ケアシステムの構築に向けて、「生活支援体制整備事業」に取り組んでまいります。

また、認知症の高齢者が増えると予想されることから、認知症に対する正しい知識の普及と意識啓発のための「認知症サポーター養成講座」を継続して実施するとともに、「認知症等行方不明者対策として「見守りシール事業」を開始します。



農業振興

農業振興については、高齢化や後継者の減少が進む中、10年後の農地を誰がどのように利用し、地域農業を維持・発展させていくか、また、今後の農地利用を担う経営体への農地集約化を目的とした「地域計画」を3月中に策定する計画です。

今後は、国の交付金を活用した地域の取り組みや新規就農者への支援、農産物の販路開拓、特産品の開発等の促進を図ってまいります。

水道事業

水道事業では、一昨年の濁り水対策の継続業務として、令和7年度に配水施設洗管計画を策定し、計画に則って順次対応していきたいと考えています。

また、浄水場においては、昨年に引き続き安定的な水の供給のため、緩速ろ過池の更生工事のほか施設の管理に必要な予算を計上するとともに、配水管の適切な管理を維持するため一部配水管の布設替工事を行う計画です。

中学生海外派遣事業

外国の歴史、文化、生活などに直接触れることにより、コミュニケーション能力や語学力の向上を図り、国際感覚豊かな人材を育成することを目的として、本町の中学生を海外に派遣する「中学生海外派遣事業」を実施したいと考えています。

この事業は、公益社団法人福岡県市町村振興協会の小中学生海外派遣事業を活用するもので、事業に要する経費については、振興協会と本町が負担するものです。派遣時期は夏休み期間中で、4泊6日程度を予定しています。

王塚古墳

特別史跡王塚古墳保存活用計画に基づき、令和4年度に石室の現状調査5年度と6年度には石室の鋼管支柱の改善等に取り組んできたところです。また、7年度は、照明器具の改善、応力計や温湿度計、モニタリング設備の改善に取り組んでまいります。

保存活用計画を通して、王塚古墳の文化遺産としてのすばらしさを発信していきたいと考えています。